

第4回とやま世界こども舞台芸術祭(PAT2022)

開催趣意書

2020年の初頭から、世界の人々は大きな衝撃を受けました。新型コロナウイルス感染症が世界各国で多くの人々を苦しめ、さまざまな社会活動を停滞させました。2020年に予定されていた「とやま世界こども演劇祭」も中止を余儀なくされました。

こうした中で、とやまでは2020年の秋以降、十分な感染症対策のもとで舞台公演や展覧会の安全な開催に成功し、芸術文化活動を待ち望んでいた人々に大きな希望の明かりを灯すことができました。また、WEBメディアを活用し、遠隔地や屋外に出ることができない方も多様な芸術文化活動の一端にふれることができるようになりました。

私たちは、今回の事態から多くのことを学びました。遠隔を余儀なくされたことで、直接会うことのかげがえのなさ、困難な状況にあって互いに相手を気遣う友情、そして共通の夢や目標に向けて手を携えた国際協力の大切さを胸に刻みました。

富山県は、日本唯一の氷河がある高さ3000m級の立山連峰から、「世界で最も美しい湾クラブ※1」の富山湾まで変化に富んだ美しい自然のもと、人々の努力によって災害を克服し、人類の理想である「SDGs未来都市※2」をめざす意欲的な自治体です。舞台芸術はもとより、美術・工芸などでも日本トップクラスの成果をあげています。また、会場となる富山市はコンパクトシティ※3、レジリエンスシティ※4をめざし、高岡市は1300年を超える伝統文化を有しています。皆さんには、伝統文化から時代の最先端まで、開催地とやまの多彩な魅力にもふれていただきたいと思います。

これまで、とやまでは置県100年記念事業の「富山国際アマチュア演劇祭(TIATF'83)」(1983年)開催以降、数年毎に大きな国際フェスティバルを開催してきました。

これからの世界を担うこどもたちを主役とした「とやま世界こども舞台芸術祭」は2008年から2016年まで4年毎に開催してきており、2022年は4回目の開催となります。舞台公演とともに、多くのワークショップ、エクスカージョンなど、魅力的な文化交流の場を予定しています。

お互いの思いを深め、夢と目標を重ねる交流は、すでに始まっています。2022年8月には、直接言葉を交わし、困難を乗り越えて互いの舞台にふれる喜びをともにしましょう。とやまの地で、心をこめた友情の輪を広げ、手を携えて芸術文化における国際協力の新しい扉を開くことを期待します。

※1 フランスに本部を置くNGO 日本では5つの湾が加盟 World's Most Beautiful Bays Club

※2 国連が提唱する、人類の持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)を旨とし、経済・社会・環境の課題解決や新しい価値の創造に、優れた提案をした自治体を国が認定。

※3 生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市。富山市は日本初のLRT(light rail transit)など公共交通整備が有名。

※4 ロックフェラー財団が、国際的課題に先進的に取り組む世界100都市を支援。日本では初選定。